

水泳部 放送部 2年連続全国大会出場 全国大会 入選(準決勝進出)



第72回NHK杯全国高校放送コンテスト (R7年7月24日東京都) テレビドキュメント部門 「三高メディア・アーカイブ」

第93回日本高等学校選手権水泳競技大会 (R7年8月18,19日広島市)
男子200m背泳ぎ(10位・B決勝進出)
100m背泳ぎ 津田 琉生(3年)
女子50m自由形 村上 遥香(2年)
2025年わたSHIGA輝く国民スポーツ大会 (R7年9月13~15日滋賀県草津市)
競泳競技 少年男子A 津田 琉生(3年)
少年女子A 村上 遥香(2年)



発行所
兵庫県南あわじ市
兵庫県立
淡路三原高等学校
同窓会
印刷所 松栄印刷

住所の変更があった場合は必ず同窓会本部へご連絡下さい。

同窓会の皆様には、素から本校教育活動に對するご理解・ご支援を賜り心より感謝申し上げます。
三原高校創立からは106年目、統合して淡路三原高校となる令和7年度は、新入生165名を迎えスタートしました。本校では「地域に信頼される学校づくり」生徒の可能性を伸ばす教育活動を行っています。生徒たちは、基本的な生活習慣の確立を基礎とし、授業、部活動、探究活動、学校行事など



校長 大塚 剛 啓

どに一所懸命取り組んでいます。5月1日の創立記念式典では、三原高校22回生の佐渡達史様にお越しいただき、「ユネスコ無形文化遺産登録を受けて」阿万風流踊保存会の取り組み」をテーマに、記念講演を行いました。地元阿万地区に伝わる伝統芸能である風流踊の保存会の活動についてお話いただき、生徒からも多くの質問がでるなど、地元の伝統文化について知る素晴らしい機会となりました。部活動では、陸上競技部で男子やり投げと女子棒高跳びで近畿大会に出場したほか、水泳部では男子1000m背泳ぎ、200m背泳ぎ、女子50m自由形、インターハイ出場を果たしました。また、放送部がテレビドキュメント部門で9年ぶりに全国

「ご挨拶」
同窓会長 太田 良一 (三原 二十一回生)
同窓会会員の皆様には、かつて経験したことのない猛暑を今年も何とか乗り切られ、涼しい秋の訪れと共に、いよいよご健に過ごされていることとお慶び申し上げます。平素は、同窓会の運営並びに活動に對していただき厚くお礼申し上げます。さて、今春に大変嬉しい場面(私たちの後輩諸君は、流石だなあ!)と感激しましたので、まずもってご紹介をさせていただきます。今年の淡路三原高校の学校創立記念式典後の講演会には、令和4年11月にユネスコ無形文化遺産に登録の決定を受け



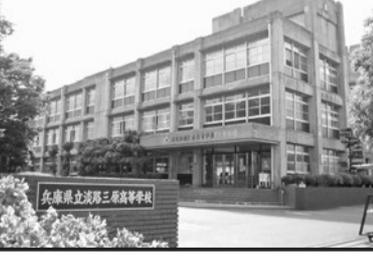
た「阿万風流踊保存会」の佐渡達史氏(登録決定時の会長、阿万上町在住)の三原22回生を講師にお招きし、「ユネスコ無形文化遺産登録を受けて」阿万風流踊保存会の取り組み」をテーマにご講演をしていただきましたが、古いものは約400年以上の歴史を持つ阿万上町に伝わる伝統芸能に、果たして今の高校生諸君が如何に興味を持ってくれるのか?魅力を感じてくれるのか?等々の不安を抱きながらの約1時間の講演が始まりました。ところが一方通行の形の講演が終わり、進行役の先生から、質疑及び意見交換の時間が設定されたことや、約10名の生徒たちからおおよそ次のような意見や提案が寄せられました。
①「阿万の風流踊」は、興味深く魅力的で、素晴らしい。是非ライブで見てみたいし、保存・継承活動にも参加してみたい。
②「阿万風流踊」の良さを市内外に広く情報発信をすべきである。
③方法論として、TikTok等で発信すれば!などの意見や提案が矢継ぎ早に寄せられ、大変盛り上がり、淡路文化の継承者、ここにありたいものを感じた次第であります。そもそも南あわじ市は、各地に秘伝の郷土芸能が残されておられ、なおかつ世界的にも評価の高い淡路人形浄瑠璃や各地で盛んなだんじり唄などが持つ豊かな文化的土壌があります。しかも、本校では、南あわじ市・淡路景観園芸学校・国立淡路青少年交流の家による「南あわじ市の地域創生」にかかる包括連携協定に基づき、より活動の幅を広げた「総合的な探究の時間」がスタートして4年目になります。生徒たちは「Sagasプロジェクト」で身近な地域課題と真正面から向き合っており、解決に挑みながら着実に郷土愛と誇り、文化力をも育んだものと思われまふ。本日に、今の淡路三原高校生の文化力は素晴らしいと実感いたしました。続いて、同窓会の学校

夏季休業中には「Sagasツアー」と称して東京、大阪、広島の三方面へ研修旅行に出かけ、生徒たちは淡路島ではできない貴重な経験をさせていただきました。淡路地区全体の生徒数減少により、本校も生徒の募集定員を満たしていない状況になっています。南あわじ市唯一の高等学校として、多様な進路希望を持つ生徒の進路実現に向け、教職員、生徒共々毎日の教育活動に一所懸命取り組んでいます。また、コロナの影響もほぼなくなり、生徒が学校外で活動する場面も多くなり、地域の中で高校生が生き生きと活躍する姿を見せてきています。来年度、本校は創立20周年を迎えます。南あわじの伝統校として、三原高校と志知高校の長い歴史と伝統を受け継ぎ、さらなる学校の発展に取り組んで参ります。

及び現役生徒たちへの支援ですが、私たちの母校である淡路三原高等学校の「魅力ある、豊かな学校づくり」に少しでも貢献しなければならぬと考えており、先生方とのコミュニケーションを密にし、学校教育環境整備事業への支援を行っていきたいと思っております。具体的な今年度は、①淡路三原高校20周年記念誌の作成(準備)、②学校広報パンフレットの作成、③探究校外学習(Sagasツアー)の実施などの諸事業に対する支援を行うこととしております。ご理解とご支援をお願いいたします。最後に、同窓会会員の皆様方のご健勝と益々のご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



今後も、同窓生の皆様からの本校に対するご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



淡路三原高校同窓会のホームページ
<https://awajimihara-dosokai.jimdo.com>
淡路三原高校のホームページからもアクセスできます。
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~awajimihara-hs/>

- 同窓会本部及び支部連絡先**
- 本部 六五六一〇四六一 兵庫県南あわじ市市町内寺三五一
 - 兵庫県立淡路三原高等学校同窓会 電話(六五六一〇四八〇) FAX(六五六一〇三三三) 郵便振替口座 〇一一五〇一五六八五七九
 - 三原支部 六五六一〇四八三 南あわじ市志知中島六六二 別所 敬二(三原22) 電話(七五〇三三三三)
 - 南淡支部 六五六一〇五〇一 南あわじ市福良甲 六二四一四 阿部 員久(三原27) 電話(六五六一〇六五一)
 - 西淡支部 六五六一〇六五二 南あわじ市伊加利一八四二 前田 和義(三原24) 電話(六五六一〇五六四)
 - 緑支部 六五六一〇一六一 南あわじ市後土井三三二一 椿 大尚(三原37)
 - 津名支部
 - 洲本支部 六五六一〇一〇一 洲本市納七〇七一 木戸清 隆(三原24) 電話(六五六一〇五九二四)
 - 神戸支部 六五六一〇〇四六 神戸市中央区港島中町三二二一六エグリーン 橋田 之宏(三原23) 電話(六五六一〇二六四五)
 - 大阪支部 五六一〇〇〇一 大阪府摂津市千里丘 四一九一三八六〇二 阿部 貴久(三原27) 電話(六五六一〇五八八二)
 - 京都滋賀支部 六〇六〇九〇四 京都市左京区松ヶ崎 庄司 俊作(三原23)
 - 東京支部 一〇〇一八二三六 東京都代田区大手町一〇一 パールビルディング アンダーン・毛利・友常法律事務所 鼎 博之(三原24) 電話(三三三三三三三)
 - 奈良支部
 - 東海支部 四六〇一〇二二 名古屋市中区千代田三三三 一三三三三三三三三 千代田 六〇五 阿部 智彦(三原24) 電話(三三三三三三三)

支部だより

東京支部

支部長 博之

東京支部(ゆづるは)は、6月7日(土)正午から、令和7年度の総会・懇親会を市ヶ谷の私学会館で開催しました。今年度は、会員の出席が37名、ゲストも含めると41名の参加となりました。淡路三原高校からは大塚剛啓校長先生にご参加頂き、さらに、太田良一同窓会長、また東京兵庫人会の井口正彦幹事、兵庫県東京事務所次長の棟廣巖様にもご参加頂きました。

総会では、大塚校長先生に来賓挨拶をお願いし、淡路三原高校は地域の拠点校として、充実した教育活動が着々と進んでいること、新制淡路三原高校として19年目



次いで、恒例の集合写真の撮影を行い、懇親会に移りました。懇親会の冒頭、同窓会長の太田良一様(21回生)に、乾杯の音頭をお願いしました。また、大正8年(1919年)の創設時から106年目という伝統を承継していること、普通科ではキャリア類型とアカデミア類型として、進路を意識した教育方針がとられていること、文芸探究の時間をとることに重点を置き、Sagassuアリーナとして東京、広島、関西地区で企業訪問や大学でワークシヨップを開催し、生徒の自発的な活動で単位が取得できるようなりにしていることが紹介されました。また、兵庫県人にも力を注いでおり、女子棒高跳びや男子槍投げで近畿大会に出場するほか、水泳でもインターハイに出場するなどの実績を残しており、文武両道に秀でるよう様々な工夫をしているとのことでした。

来年度も、本年と同じアルカディア市ヶ谷私学会館にて、2026年6月6日正午から開催を予定しております。さらに若い会員や女性会員の参加をお願いしたいと思っております。今後とも、会員各位のご支援をよろしくお願い致します。

東海支部

支部長 阿部 智彦

東海支部では、第21回(第13回淡路三原)同窓会(懇親会)を11月17日(日)13時よりKKR名古屋ホテルにて開催しました。参加者は、昨年同様12名でしたが、2005年以来19年ぶりに榎本俊二氏(29回生)、また、昨年に続き奈良市から廣川宣昭氏(16回生)が参加してくれました。

総会前、24回生の船ヶ山(旧姓木本)昌子さんが卓球の全日本マスターズ17歳以下クラスで、タ17歳以下クラスで、部で令和4年度のシン

グルス優勝以来2年ぶりに令和6年度ロースターで優勝した。報告され、この輝かしい活躍に対し、同窓会一同から拍手喝采が起り、おどろき、2022年おどり)が、2022年にユネスコ無形遺産として登録されたことを紹介され、南あわじ市が文化意識の高い地域であることを誇りに思うとご挨拶されました。

懇親会では、今回女性参加者が10名となり、また、もつとも若い参加者が平成28年卒業の齋藤勇樹様、また、現在大学3年生の土井愛矢さんも参加され、かなり若返りが図られたように思います。また、兵庫県人会の井口幹事からも、郷土つながりが持てるようにならざるかと納税のお話をいただき、兵庫県人会への参加などの呼びかけがあり、一気に兵庫や淡路島の話題で盛り上がりました。

来年度も、本年と同じアルカディア市ヶ谷私学会館にて、2026年6月6日正午から開催を予定しております。さらに若い会員や女性会員の参加をお願いしたいと思っております。今後とも、会員各位のご支援をよろしくお願い致します。



京都滋賀支部

支部長 庄司 俊作

神戸、大阪、京都、滋賀3支部合同の同窓会として開催された経緯と当日の模様については大阪支部の「支部だより」に触れられているように、

うであるから、京滋支部参加者の感想を中心に紹介したい。

(1)幹事の感想
進行がとてよよく、手持ち無沙汰になる時間がなかった。歓談の時間もとれてよかった。

(2)席割
事前に決めていなかった。その活躍と関連記事は「スポーツ誌」卓球王国」に掲載されています。

総会では、支部長挨拶に続き、会計報告、校歌の斉唱が行われました。校歌は、荒内さん、オカリナ伴奏に合わせて全員で斉唱しました。

懇親会では、会食をしながら各参加会員の近況報告が行われ、そのほかにも淡路島出身の有名人の話、健康の秘訣など、とても和やかで楽しい一時となりました。東海支部の総会・懇親会の特徴は、和やかで家庭的なところだと思います。昨年の東京支部では平成28年卒の京滋支部の方が参加された支部自体の若返りが図られたと聞いています。東海支部においても支部の若返りを願っています。東海地区で活躍中の若い会員の方、参加経験のある会員の方、時間的に余裕のある会員の方は奮ってご参加ください。お待ちしております。

て下さり、交流の助けになってありがたかった。何年後になるかわからないけれども、次回も参加ができるよう健康に気をつけて過ごしたい。

(4)集合写真の当日配布
非常にクリアな写真であり、家でみたときも自己紹介の話が思い出される人が25人くらいはいた。80代の方が元気なことにも励まされる感じがした。

全員の自己紹介ができたこと、プロフィール付き名簿、集合写真の相乗効果で、同窓会全体の印象がアップしたと思われる。

最後に、同窓会の開催場所が支部会員からすると遠く、参加費も高めであったせい、京滋支部の参加者が例年より少なかったことが残念であった。しかし、合同同窓会開催の意義は小さくないので、定期化を含め同窓会の「持ち直し」について適宜改善することを前提として、引き続き参加を検討したい。

なほ、支部ホームページは淡路三原高校同窓会「京滋」で検索できま

大阪支部

支部長 阿部 賞久

暑中お見舞い申し上げます。6月27日に関西地域は梅雨が明け、5月15日、平年に比べて22日も早いそうです。異常気象は、曇りにも及び、6月下旬から連日猛暑日を記録しています。この暑さに見えなかつたが、家では気がなつてきた。人の消息が分り、非常にあるが、たい資料であった。

(3)一般参加者の感想
(抜粋)
同郷のよしみという方もあり、楽しく時間を過ごすことができました。また、すぐに近況を手元に届けて



さて、この暑さの中、母校の生徒のみなさんは、期末テストが終わった頃でしょうか。3年生のみなさんは、運動クラブも文化クラブも最後の活動に全精力をつぎ込んでいらっしゃると思います。是非とも悔いのない成績が収められますよう心からお祈り致します。

同窓会大阪支部は、昨年11月9日(土)に大阪梅田で京滋支部、神戸支部のみなさんと、3支部合同の支部総会を開催致しました。高校時代の懐かしい思い出と、故郷淡路島の自然を愛でながら和気藹々のうちに楽しい時間を過ごせました。コロナ禍で遠ざかっていた総会が開催できたこと、少し安どの気持ちがあります。活動したい、少しずつですが、もつとしっかりとした支部組織の構築に向けて頑張るつもりです。大阪府内にお住まいの卒業生のみなさん、近隣にお住まいの卒業生のみなさん、お声がけをします。どうか宜しくお願い致します。

同窓会大阪支部の活動に、ご興味のある方は、阿部賞久(090・3654・3727)まで一報のほど、どうか宜しくお願い致します。母校・淡路三原高等学校と、同窓会の発展を心からお祈り致します。

神戸支部

支部長 橋田 之宏

昨年の11月、初めての京都滋賀・大阪・神戸3支部の合同同窓会が、中間地点である大阪で開催されました。大阪支部の阿部支部長から提案を受けたのは、2019年の神戸支部総会の席、準備会立上げの段になつてコロナ禍の影響で延び延びになってしまいましたが、ようやく実現できました。ひそかに期待していた打合せと称する三支部役員合同での呑



み会は叶いませんでしたが、オンラインで連絡を取り合い準備を進めることができた。支部ごとでは、案内状発送作業では、久々に神戸支部役員の方々顔合わせもできることができました。会場が遠くなったことにより参加を見送られた方もおられ、参加者は各支部総会の足し算とはいかなかった。遠く離れている友人と久々に会い、また遠く離れた地域での近況をお聞きするという意味では、三支部合同による開催の意義はあったかなと思います。ご参加くださった三支部の皆様、裏方で支えてくださった大阪支部の皆様には、大変お世話になりました。特に、当日の参加者コメントをその場で入力・印刷・配布してくださった京都支部の稲井さんには脱帽です。この場をお借りしてお礼申し上げます。各支部の貴重な人材を知ることでもでき、いい経験となりました。

余談ですが、終了後名残を惜しんで同窓生グループで梅田地下街の喫茶店に入りました。慣れた地下街で店を探し回りましたが、そこには先客の先輩同窓生グループがおられ、いずれも考えることは同じだなあと微笑ましく思いました。束の間、青春時代に浸ることができた。三支部の皆様、次回にはぜひご参加ください。

母校職員異動

離任された先生	着任された先生
教頭 齋藤 司	教頭 青木 智子
数学 淡路高等学校へ	数学 坂井 啓太郎
数学 伊達 保光	視覚特別支援学校より
数学 洲本高等学校へ	八月一日より教頭
英語 高橋 淳	理科 岡村 真輔
兵庫高等学校へ	網干高校より
保健体育 正徳 篤樹	保健体育 安達 和明
神戸学園都市高等学校へ	大阪府立東淀工業高校より
理科 岡本 裕美	英語 岩木 拓也
津名高等学校へ	洲本実業高校より
英語 江口 拓也	英語 藤原 章子
尼崎稲園高等学校へ	岐阜県立各務原高校より
理科 松田 菖汰	理科 狭間 崇
三重県立津高等学校へ	養護 小野工業高校より
養護 藤原 愛美	養護 菅野 菜穂
ご退職	新採用
事務員 山本 実咲	保健体育 内木場 怜
のじぎく特別支援学校へ	英語 片山 茉歩
校務員 坂口 英明	数学 小林 迪弘
ご退職	事務員 名手 千阿希
事務員 近藤 京子	あわじ特別支援学校より
洲本高等学校へ	校務員 寄谷 拓也
	事務員 榎本 小百合
	津名高校より

十六回生卒業記念品紹介

淡路三原高校十六回生の皆様より、卒業記念品として講義棟の外壁に街灯を2基新設、及び、生徒昇降口周辺街灯を補修していただきました。部活時や下校時に暗かった講義棟周辺駐輪場への通路に設置し、生徒が安全に通ることができるようになりました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



第16回生卒業記念 令和7年3月

部活動紹介



吹奏楽部

部員数:21名/1年:1名・2年:10名・3年:10名



放送部

部員数:4名/2年:3名・3年:1名



メディア総合部

部員数:17名/1年:6名・2年:6名・3年:5名



ボランティア同好会

部員数:30名/1年:8名・2年:10名・3年:12名



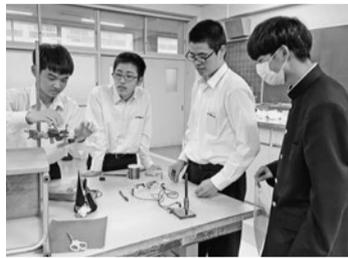
食物部

部員数:23名/1年:17名・2年:2名・3年:4名



書道部

部員数:8名/1年:3名・2年:3名・3年:2名



自然科学部

部員数:5名/1年:2名・2年:2名・3年:1名



美術部

部員数:11名/1年:1名・2年:5名・3年:5名



ダンス部

部員数:18名/1年:2名・2年:8名・3年:8名



郷土部

部員数:19名/1年:4名・2年:8名・3年:7名



茶華道部

部員数:11名/1年:5名・2年:6名



和太鼓部

部員数:8名/1年:2名・2年:6名



卓球部

部員数:13名/1年:8名・2年:3名・3年:2名



陸上競技部

部員数:45名/1年:16名・2年:14名・3年:15名



ソフトボール部

部員数:11名/1年:2名・2年:1名・3年:8名



男子バスケットボール部

部員数:25名/1年:7名・2年:11名・3年:7名



女子バスケットボール部

部員数:20名/1年:9名・2年:5名・3年:6名



サッカー部

部員数:46名/1年:13名・2年:15名・3年:18名



男子ソフトテニス部

部員数:32名/1年:11名・2年:13名・3年:8名



女子ソフトテニス部

部員数:19名/1年:8名・2年:3名・3年:8名



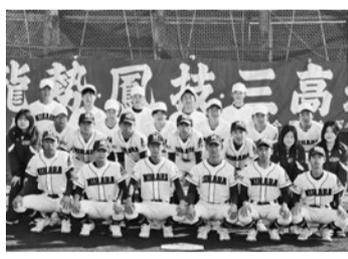
男子バレーボール部

部員数:19名/1年:8名・2年:4名・3年:7名



女子バレーボール部

部員数:14名/1年:7名・2年:4名・3年:3名



野球部

部員数:26名/1年:12名・2年:8名・3年:6名



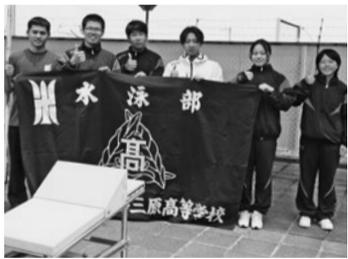
柔道部

部員数:10名/1年:6名・2年:2名・3年:2名



剣道部

部員数:11名/1年:6名・2年:4名・3年:1名



水泳部

部員数:6名/1年:3名・2年:2名・3年:1名



■陸上競技部
第78回全国高等学校
陸上競技対校選手権大会
近畿地区予選会
男子やり投げ出場
田村 權生
女子棒高跳出場
島田 侑奈
第58回近畿高等学校
ユリス陸上競技
対校選手権大会
男子2年棒高跳 出場
廣本 悠真
女子2年棒高跳 出場
吉田 望乃



■近畿大会
水泳部
第79回近畿高等学校
選手権水泳競技大会
男子100m背泳ぎ 琉生
6位 津田
男子200m背泳ぎ 琉生
2位 津田
女子50m自由形 出場
村上 遥香
女子100m自由形 出場
村上 遥香

■放送部
第72回NHK杯
全国高校放送コンテスト
テレビドキュメント部門
三高メディアアンカイン
入選(準決勝進出)
榎井 せりな
道上 遥
原頭 侑大

■全国大会
水泳部
第93回日本高等学校
選手権水泳競技大会
男子100m背泳ぎ 出場
津田 琉生
男子200m背泳ぎ 琉生
男子50m自由形 出場
津田 琉生
女子50m自由形 出場
村上 遥香

■第77回兵庫県高等学校
対校選手権大会
男子2年棒高跳 出場
廣本 悠真
女子2年棒高跳 出場
吉田 望乃
放送部
第72回NHK杯
全国高校放送コンテスト
兵庫県大会決勝
テレビドキュメント部門
三高メディアアンカイン
優勝
榎井 せりな
道上 遥
原頭 侑大



■県大会
水泳部
第78回兵庫県高等学校
選手権水泳競技大会
男子100m背泳ぎ 琉生
1位 津田
男子200m背泳ぎ 琉生
1位 津田
女子50m自由形 出場
村上 遥香
女子100m自由形 出場
村上 遥香
第68回兵庫県高等学校
ジュニア選手権
水泳競技大会
女子50m自由形 1位 村上 遥香

■陸上競技部
第78回兵庫県高等学校
陸上競技対校選手権大会
男子やり投げ 3位 田村 權生

■陸上競技部
第78回兵庫県高等学校
陸上競技対校選手権大会
男子やり投げ 3位 田村 權生

熱戦